

科目名	19. 介護総合演習 I		
担当講師	古川太基／魚屋真佐江	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	演習 60 時間・2 単位	開講学年	1 学年 通年
評価基準	筆記試験：30% 実技試験：20% 提出物：50% 出席点：減点方式（欠席数 × -3 点）		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士として必要な専門知識・技術を身につけるための介護実習の必要性について理解する。</li> <li>・各実習段階における学習の視点・目標・目的について理解を深め、効果的な学習をするための準備を行う。</li> <li>・記録の書き方、必要性について理解する。</li> <li>・介護福祉士として人に伝える能力の向上を図る。</li> </ul>		
回	講義内容		方法
1	<u>オリエンテーション</u>		講義
2	<u>実習施設の理解</u>	提出①	講義
3	I - (1)事前学習① <u>実習に取り組む姿勢</u> について <u>実習 I - (1)の特徴と各書式の配布</u>		講義・演習
4	I - (1)事前学習② <u>施設概要の書き方</u>	提出②	講義・演習
5	<u>実習記録の記入方法</u>		
6	I - (1)事前学習③ <u>実習目標の確認</u>	提出③	講義・演習
7	I - (1)事前学習④ <u>事前オリエンテーションの進め方</u> ※スーツチェック（身だしなみの確認）		講義・演習
8	I - (1)通所介護実習 <u>事前オリエンテーション</u>	提出④	講義・演習
9	I - (1)通所介護実習 <u>実習前の最終確認</u>		講義・演習
10	1. I - (1)事後学習① <u>実習ファイルの整理</u> <u>通所介護実習：振り返り</u> <u>お礼状作成</u>	提出⑤	講義・演習
	2. I - (1)訪問介護実習：各書式の配布		
11	I - (1)訪問介護実習 <u>事前オリエンテーション</u>	提出⑥	講義・演習
12	I - (1)訪問介護実習 <u>実習前の最終確認</u>		講義・演習
13	I - (1)事後学習① 1. I - (1) <u>訪問介護実習：振り返り</u> 2. <u>振り返り発表</u>	提出⑦	講義・演習

14	I - (1)事後学習③ 実習ファイル返却		講義・演習
15	I - (2)事前学習① <u>実習 I - (2)の特徴と各書式の配布</u>		講義・演習
16	I - (2)事前学習② <u>実習目標の確認</u>	提出⑧	講義・演習
17	I - (2)事前学習③ <u>カンファレンスの進め方</u> オリエンテーションの確認		講義・演習
18	I - (2) <u>事前オリエンテーション</u>	提出⑨	講義・演習
19	I - (2)事前学習④ 実習前の最終確認		講義・演習
20	I - (2)登校日 実習ファイルの整理		講義・演習
21			
22	I - (2)事後学習① 実習ファイルの整理 <u>I - (2)振り返り</u>	提出⑩	講義・演習
23			
24	I - (2)事後学習② 報告会準備		講義・演習
25	I - (2)事後学習③ 報告会準備		講義・演習
26	I - (2)事後学習④ <u>実習報告会①</u>	実技試験	講義・演習
27	I - (2)事後学習④ <u>実習報告会②</u>	実技試験	講義・演習
28	<u>まとめ・振り返り</u>		講義・演習
29	I - (2)事後学習⑤ 実習ファイル返却	提出⑪	講義・演習
30	筆記試験		試験
	テキスト・参考書	<p>最新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 中央法規 資料配布（介護実習の手引き・様式集・記録用紙など）</p> <p>【講義を受けるにあたって】</p> <p>①配布資料を保存できるファイルを購入すること ②黒のボールペンを使用するので購入すること（修正不可のもの） ③実習中はポケットサイズのメモ帳を使用するので購入すること ④8月に訪問介護実習を行うため、掃除、洗濯、調理の練習をしておくこと ⑤実習用のファイルを学校から配布します。2年間使用するため、なくさないこと。</p>	